

地域PJ発表祭

「多摩地域に クラシック音楽を！」

- 多摩大学 樋口ゼミナール -
2年 堀内 一希 2年 今井 菜美
2年 池口 望

: AGENDA

- ゼミ概要
 - 樋口ゼミとは
 - 最終目標
 - 活動記録
- 分析
 - 分析プロセス
 - 若者とクラシック音楽
 - 現状における課題
- 企画
 - 課題解決のための企画立案
 - 企画スケジュール
 - 実施による効果（推測）

まとめ



※ 樋口ゼミとは ※

クラシックコンサートの企画立案、マネジメント、準備から当日の運営まで全てを行うゼミである。

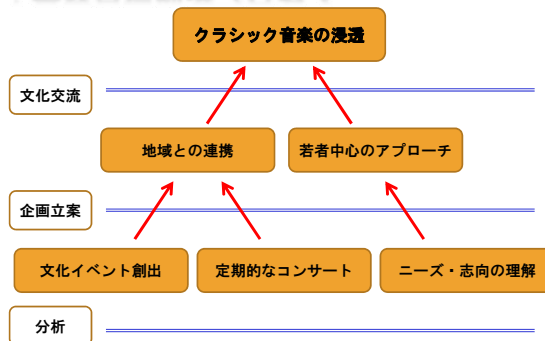
目的：「多摩地域 及び 若者への
クラシック音楽の浸透」



= 目的達成のカギ =

- 入り口提供
- 若年層の取り込み
- 地域的文化の定着

: 最終目標到達プロセス



: 活動記録

「樋口ゼミの活動」

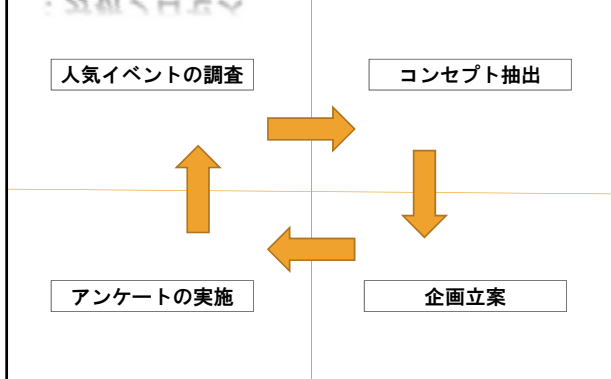
- ・ 2009年 4月、多摩大学樋口ゼミ発足。
- ・ 2009年 6月26日、多摩大学101教室にて、「あらえじ・カンタービレ」を主催。
- ・ 2009年 9月18日、多摩大学101教室にて、日本を代表する作曲家の三枝成彰氏を招いて演奏会を運営。
- ・ 2009年11月10日、バルテノン多摩大ホールで、多摩大学20周年記念コンサートを運営。
- ・ 2010年 8月25日、渋谷区のHAKUJU HALLで「音楽の宅急便」を主催。
- ・ 2011年 4月 8日、バルテノン多摩大ホールにて「多摩音楽祭前夜祭、フィルハルモニア多摩、室内楽第一回定期演奏会」を運営。
- ・ 2011年 7月 1日、フィルハルモニア多摩の金管楽器のメンバーによって、「動物の謝肉祭」、「ヘンゼルとグレーテル」などの金管五重奏にて演奏。
- ・ 2011年10月21日、フィルハルモニア多摩の木管楽器のメンバーによって、「星空の窓辺から」などを演奏。
- ・ 2011年12月17日、九段の寺島文庫ビル「みねるぼの森」にて樋口ゼミ卒業生による卒業制作コンサートを主催。



: 実施風景



：分析プロセス



：若者とクラシック音楽

[注目点(仮説)]
若者の来場者割合が少ない理由として、「クラシック音楽」への接触機会が無い事が考えられる

- 10代～20代 50名へのヒアリング調査結果より -

- 「敷居が高い気がする」
世代間ではポピュラーではない、娯楽としては金額が高い、堅苦しいイメージがある、コンサートへ行く事に緊張する、
- 「どういうものか分からない」
知識がないと聴けないイメージ、どう聴くのか分からない、
- 「コンサートへ行く機会がない」
いつやっているのか分からない、手元に情報が入ってこない、情報を頻繁に見ないから日時を忘れる

：現状における課題

クラシック音楽を聴く、という文化が定着していない

- どうすれば文化浸透に繋がるか -

- 若者来場率の向上
- 年間開催コンサート数の増加
- 学校、団体との提携体制
- 地域との連携強化
- 「文化の街」イメージの定着

以上の事が挙げられる

！ 課題解決の為の企画立案 ！

- コンセプト -

- 1、安くて **お手軽**
- 2、行きやすく **お気軽**
- 3、でも **ハイクオリティ！**



「クラシック音楽初心者」
でも入りやすい、を重視！

！ 企画概要 ！

「唐木田クラシックコンサート」(仮題)

- 場所：唐木田菫蒲館 (最大収容数100人) ピアノ有
- ターゲット：児童・若者をメインに中高年層まで
- コンセプト：「**映画音楽とクラシック**」
馴染みのある有名映画に使われた曲を組み込み、クラシック自体への関心を高める狙い。
- 日付：2012年5月以降を予定 (現在演奏者様と日程調整中)
- 演奏者：久保山菜摘 様、他音大生2名様
- チケット：一般1000円、学生800円(ペア1500円)

映画音楽をメインに盛り込み、「シネマクラシック」などの触れ込み宣伝のためカウンタービレ、戦場のピアニストなどに使用された楽曲を演奏予定

：企画スケジュール

済

2月

3月

4月

- ・企画立案
- ・会場の選定
- ・演奏者交渉
- ・企画確認打ち合わせ
- ・曲目の選定

- ・事前打ち合わせ
- ・ポスター、チラシ準備 (広報班)
- ・チケット発行 (広報班)
- ・各方面へ宣伝活動 (広報班)

- ・最終打ち合わせ
- ・集客活動
- ・会場配布パンフレットの作成

- ・コンサート開催 (当日)
- ・アンケート回収、分析調査
- ・課題抽出、ゼミ会議
- ・新企画へ向けた反省

：実施による効果見込み

— 意識 —

- ・文化を大切にする意識の芽生え
- ・文化の吸収、同調
- ・音楽による 人と人の結び付き
- ・音楽による地域と人の結び付き
- ・知識、教養、人間的成長

— 実益 —

- ・地域訪問人口の増加
- ・文化的商業の発展可能性
- ・連携によるビジネスチャンス
- ・地域知名度の向上
- ・地域的文化の確立



※ まとめ ※

目的：「多摩地域 及び 若者への
クラシック音楽の浸透」



■ 文化の定着

⇒ 文化人人口の増加

■ 地域振興

⇒ 文化的発展と人的交流

■ 「若者の街」

⇒ 新たな可能性の街へ

地域PJ発表祭

「多摩地域に
クラシック音楽を!」

御静聴ありがとうございました

- 多摩大学 樋口ゼミナール -